

日中友好新聞

府連通信

2020年7月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

大阪府連合会 第66回大会開く

中国への関心に応え友好を深めよう

日中友好協会第66回大阪府連新総領事のメッセーが代読・大会は、7月5日、国労大阪会館で35名の参加で開催されました。2019年度活動報告と2020年度活動の進め方を松尾理事長が報告・提案、決算・予算案・会計監査報告がそれぞれ提案され平松議長との進行で討論に入り、各種議案や大会宣言を拍手で確認し、新役員を選出、山本恒人副会長が閉会のあいさつをしました。

来賓の前田清兵庫連会長が「関西トップの開催です、注目、は香港問題」とあいさつされ、メッセーは26団体から寄せられ、中国大阪総領事館・何振良



初参加・富田林にも支部結成をと発言

中国とのかわりには富田林で市会議員の活動をする中、中国人から次々と生活相談が寄せられ、中国からの視察団受け入れや、大学の研究者や企業の紹介などの取り組みからです。

西安のユネスコ鼓楽団の招待では、中国のテレビにも出演、大阪春節祭では第1回から、総領事とテーブルカットに招待されました。

大先輩の藤後さんや、市内在住の中国人医師や大学教授、友好交流に参加したい人、若い人たちが力を合わせて、堺支部の援助をいただいて、富田林支部結成を目指しています。

(堺支部・岡田英樹)

メッセー26団体と政党から頂きました

中華人民共和国駐大阪総領事・何振良、日本共産党衆院議員清水忠史、日本共産党前衆院議員宮本岳志、日本共産党参院議員山下よしき、日本共産党前参院議員辰巳コタロー、日本共産党参院議員大門みきし、日本共産党大阪府国政対策委員長わたなべ結、日本共産党大阪市議員団、明るい民主大阪府政をつくる会、新婦人大阪府本部、日本ベトナム友好協会大阪府連合会、日本コリア協会・大阪、メッセー26有難うございました。

女性部 映画会や学習会 感想会は豊かな交流

2016年5月の再建以来、事務局会議と運営委員会を定例とし、女性部の特性をいかした学習や行事、交流会など計画を立て活動を進めてきました。取り組みへの参加よびかけは、女性会員にとどまらず男性会員や会員外にも広げ、会員外の参加者も増えました。

特別発言 中国情勢と香港問題について

中国の情勢・香港状況の基本的な見かたを副会長山本恒人(大阪経済大学名誉教授)が発言、①香港の状況(国家安全法)「香港基本法」一「二制度」の遵守は国際的責務

②中国の情勢(全人代の特徴)7月5日の日中友好新聞1面トップに、5月末開催の全人代は中国映画に詳しい方から映画会談の内容を解説しています。

東大阪支部の坂手日登美さんは中国武漢の劇作家沈虹光の紹介と会員拡大の経験報告。

西支部の松原弥寿夫さんは、この1年間の5原則にもとづく支部活動と、会員70名を目標にしていると発言されました。

大会宣言 (一部略)

日本中国友好協会大阪府連合会は、7月5日、第66回大会を国労大阪会館において開催しました。

大会には、35名の会員がつどい、昨年6月の大会以降の不再戦・平和活動、他団体や旅行を通じた友好交流活動、漢文漢詩講演会・中国映画鑑賞・きりえ制作・太極拳普及などの文化活動、仲間ふやし、中国百科検定受験講座や中国情勢の学習活動など、はばひろい友好運動が、各支部、女性部と青年などで取り組みできました。

この1年間で新たに日中友好運動に加わった人たちは57名、2015年7月以降、60か月連続で新しい会員を迎えています。新型コロナウイルスの感染拡大防止自粛要請で、行事、会議の中止・延期・自粛を余儀なくされました。しかし、大会発言で、中国支援の緊急募金活動、支部会員の呼びかけ活動など創意ある取り組み、市民の中に日中友好をひろげるための仲間ふやし活動、さらに各支部からは、「活動の5原則」に基づく豊かな実践が報告されました。

当面、10月の協会創立70周年記念行事、12月の「南京の記憶をつなぐ」つどいを成功させましょう。また、11月29日の第8回と2021年3月20日の第9回「中国百科検定」の成功のため、学習サロン「日中カフェ」の開催や受験講座、分野別学習などにも取り組みましょう。

新役員紹介 (敬称略)

会長・渡辺武、副会長・山本恒人、理事長・松尾豊、副理事長・片山英徳、事務局長・近藤好幸、事務局次長・澤野井公夫。

常任理事・浅田美奈子、石井勉、恒岡正勝、西脇義彦、浜正幸、平松悦雄、松原弥寿夫。

理事・浅田勝美、荒崎博、上村康夫、尾中妙子、小部修、栗山俊子、早乙女実、坂手日登美、佐藤倫理、土井一正、西澤信善、登り山和希、藤崎光子、藤田大輔、前田尋、森西武志。

会計監査・伊藤滋高、西本博文、顧問・石川元也、小林徳子、藤後博巳、参与・西村成雄、村田はな子。

コロナ問題と香港問題で

中国政府への感情は、最悪の事態に

中学校教科書の採択問題が、等の声が溢れます。わたしは大阪府下維新市長の市、特に堺市が焦点になっています。戦争賛美の育鵬社歴史教科書は大阪府下で5つの市で採択され、大阪府の中学生の20%が使用しています。堺支部の取り組みとして、学習や情報提供、教科書展示会へ参加し、意見を書くことを呼びかけています。また、要請書を市教委へ提出します。府連としての取り組みを要請します。

中国が嫌いでもいいが、隣国であり引越はできない。この状況下で日中友好をどう進めるのか！を、私たち会員が考え行動するのが大切です。経営者とお話すると、「中国はひどいものだ！」「中国共産党の独裁は最悪！怖い！」

堺市とも連携 事務所も常設

議案書の補強発言です。堺支部結成から3年、話合いを定例化（木曜日・月一度）を図っています。その中でいろいろなアイデアが出てきて学習会を企画し、次回は地震問題を取り上げ会員が講師となつてくれます。堺広報にも私たちの行事が載り、そこから連絡が来ます。そして会員拡大につながり、

映画 時の航路 上映

十三 七芸を満席に

映画は満席にして見るもの、しかし現在は空席を作って自らの利益を失いながらの上映

力を集中して会員50人を突破

行事開催で早期に 会員70人を

コロナ禍で支部行事や会議が中止された中、5月の三役会議で、45人まで来て足踏みしている会員拡大を、一気に50名達成へ力を集中することを確認し、4日間で5人を増やし、5月の当初目標の50名を見事に達成しました。

私は城東生健会事務所で日中友好協会の話をし、この人はと思う人に入会の誘いを受けました。事務所は一時日中友好協会の話題でもちきりでした。そんな中、入会に距離を置いていた役員が「日中友好協会に入会する」と向こうから言ってくれました。この熱気は城東生健会に新たな活気をもたらし、事務所が狭くなり今月中に広い事務所へ移転す

西支部 きりえで

創るうちわ講習会

6月28日、西支部「きりえで創るうちわ講習会」が開かれ、10名が参加し近藤講師の指導で、



絵柄を熱心に型紙にあわせてナイフを操りうちわに仕上げました。

全人代での「国家安全法制」

決定に関する本部田中義教理事長談話 抜粋

5月28日、全人代で香港の「国家安全法制」が採択されました。同法では香港での国家分裂行動、政府転覆、外国勢力の関与、さらに組織的テロ活動などが禁止されることとなります。昨年行われた逃亡犯引渡し条例に反対する抗議行動を、中国政府は外国勢力の関与による不法な組織的テロ行為、国家分裂活動と見なし、安全法が不可欠としています。国際世論は強く反発しています。

さらに中国の国家安全当局が香港に配置されて監視活動を行うことなどが安全法に盛り込まれています。

コロナ感染化の中での 太極拳普及活動の現状について

本部主催の合宿も年4回実施し、2月の全国種目別合宿ごろまで順調にみえた太極拳活動も、コロナ感染で全国的休講に追い込まれました。6月頃から東大阪、西、守口、富田林、淀川地区などで教室が少しずつ再開されています。大阪府連の太極拳委員会も6月に再開、西支部では再開準備の為の講師団のネット会議を2回行いました。ネットでの会議は感染の心配もなく、顔も合わせて快適でした。

再開できた教室ではもやもやした自粛生活からやっと抜け出し、マスクをつけての練習ですが、仲間と一緒に練習できるよるこびと熱気にあふれています。太極拳委員会からお詫びと訂正です。天満教室6月で「閉講」と報じましたが「休講」とします。ただ、大都市での教室運営は会場の確保、会場費等が大変でこれからは支部、地域に根差した活動に切替えていく必要を感じています。大阪の関連教室は25教室、約500人が参加しています。来年の太極拳普及45周年記念表演会を目標に、参加準備も進めていきたいと思っています。

(常任理事・恒岡正勝)

泉州・堺プロジェクト学習会

「南海トラフ

巨大地震を考える」

話題・資料提供

楠本辰作さん

7月16日(木) 2時から

堺国際交流プラザ

東大阪支部総会

7月17日(金) 2時から

東大阪市民多目的センター

中会議室1(3階)

高井田元町1-2-13

近鉄永和駅下車2分

現代中国学習会

コロナ感染と中国のこれから

安井三吉 神大名誉教授

7月18日(土) 2時から

東灘文化センター8階